

令和7年フェロモントラップによるヨトウガ類誘殺消長

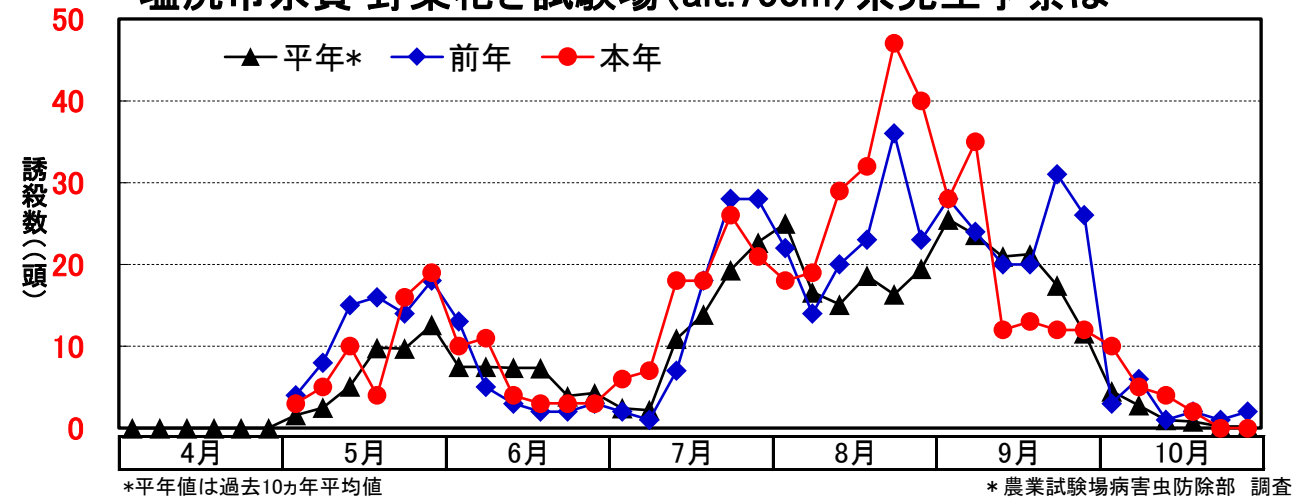
農業農村支援センター、試験場で実施したフェロモントラップによるヨトウガ類誘殺消長調査の結果です。

(農業農村支援センター調査データは7日間隔で調査したものを5日間隔に補正してあります。)

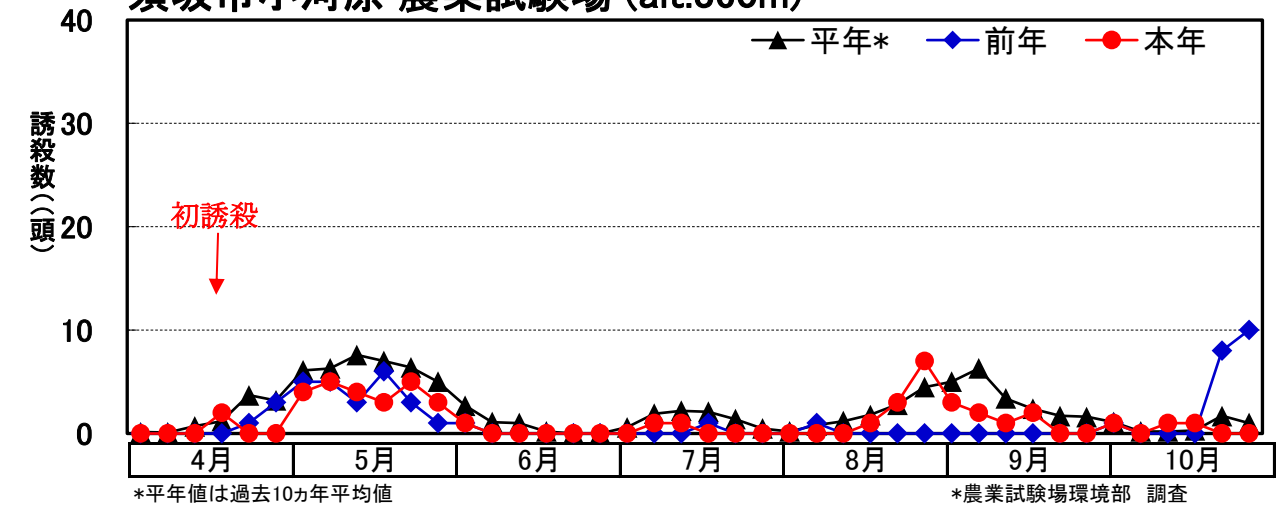
◎ヨトウガ 【コメント】

- ・塩尻市では、7月まで平年と同様の発生消長で推移したが、8月に大きな発生の山があり、誘殺頭数は平年と比べかなり多かった。9月中旬からは減少した。
- ・須坂市では、4月第4半旬に初誘殺され、10月下旬まではほぼ平年並に推移し、誘殺頭数もほぼ平年並であった。
- ・茅野市では、5月第2、第3半旬は平年と比べやや多かったが、5月第4半旬以降は、平年並～平年と比べやや少なかった。
- ・原村では、6月第2半旬の誘殺頭数がやや多かったが、全般的に平年並～平年と比べやや少なかった。
- ・南箕輪村では、調査開始の5月第1半旬から誘殺され、5月の誘殺頭数は、過去5か年の平均値と比べ多かったが、6月は平年と比べやや少なかった。

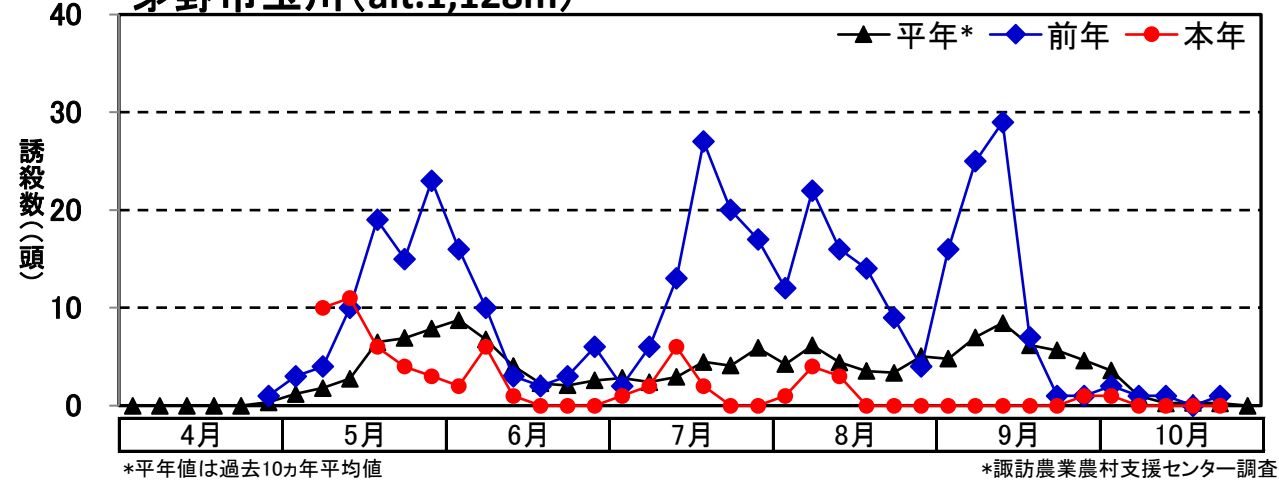
塩尻市宗賀 野菜花き試験場(alt.750m)県発生予察ほ



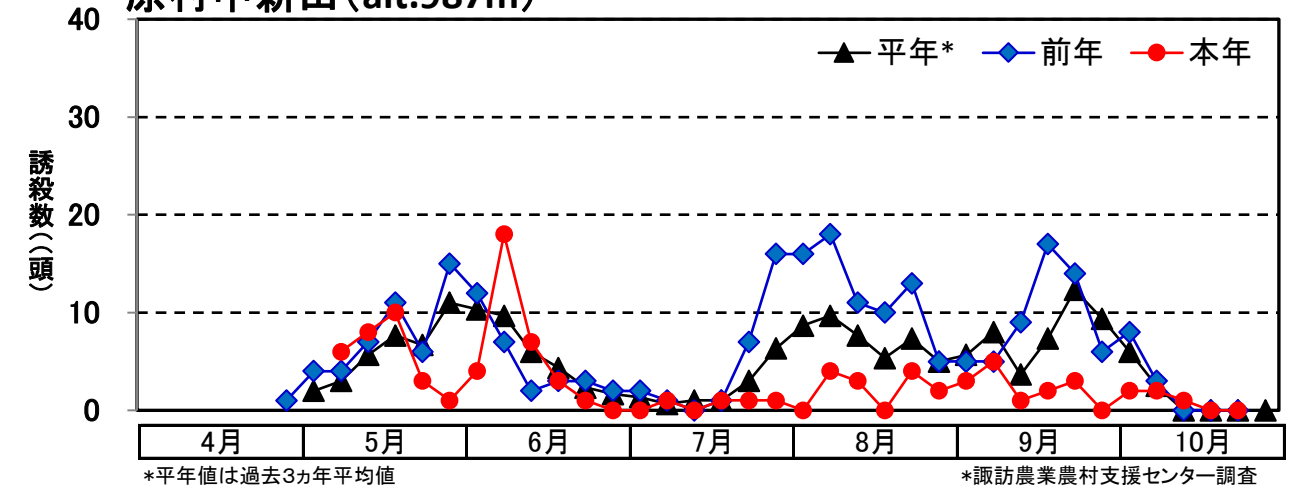
須坂市小河原 農業試験場 (alt.360m)



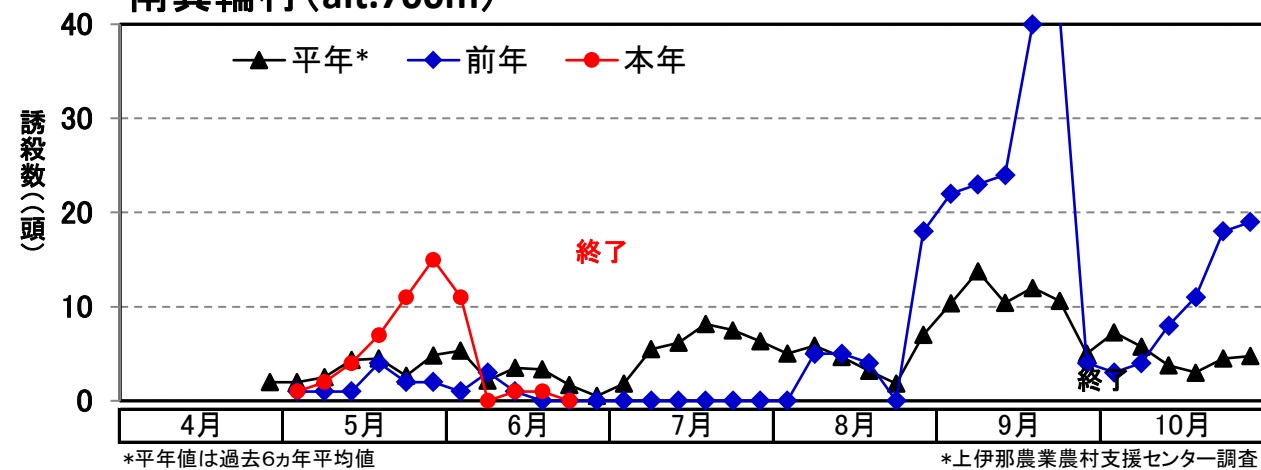
茅野市玉川(alt.1,128m)



原村中新田(alt.987m)



南箕輪村(alt.700m)

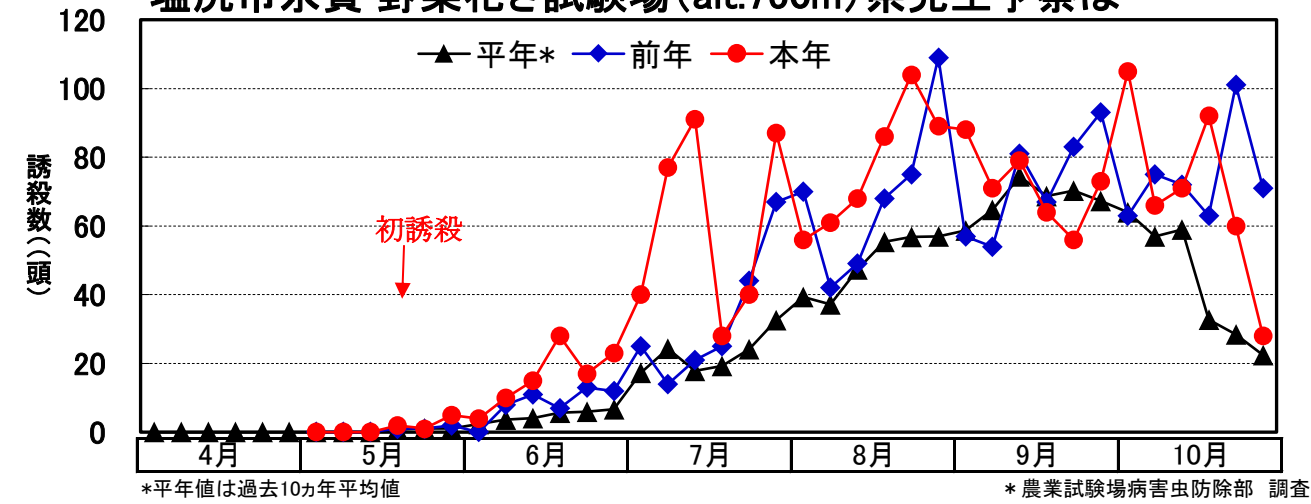


◎ハスモンヨトウ

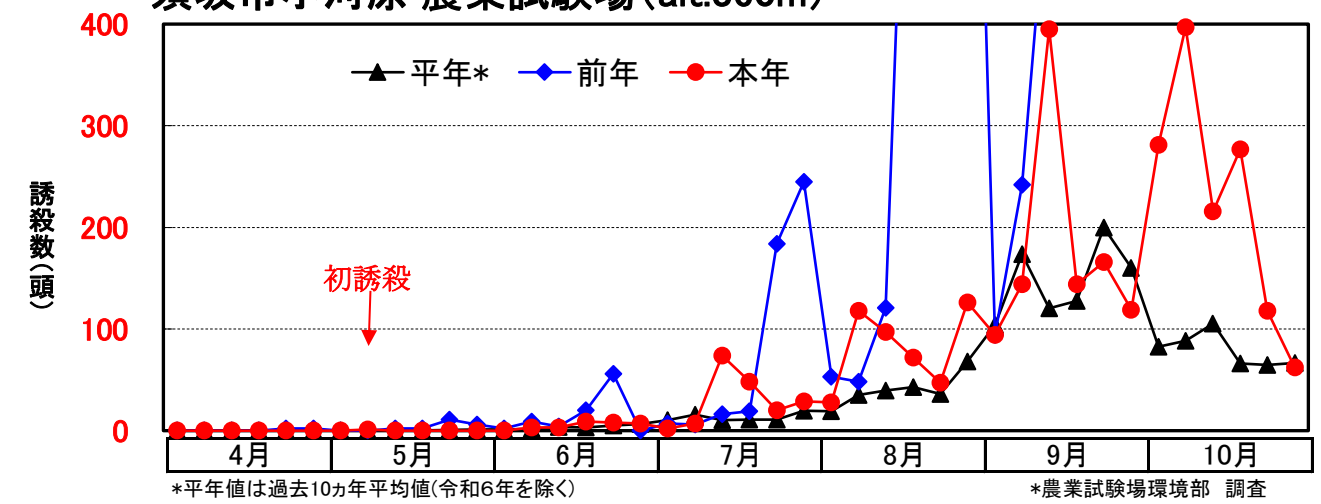
【コメント】

- ・塩尻市では、ほぼ平年並の5月第4半旬に初誘殺され、6月～10月第5半旬までの間、9月を除き、誘殺頭数は平年と比べ多かった。
- ・須坂市では、平年と比べやや早い、5月第2半旬に初誘殺され、7月上旬まで平年並の誘殺頭数であったが、7月第3半旬以降、誘殺頭数の山が数回あり、7月～10月の総誘殺頭数は平年値の約2倍であった。
- ・上田市では、平年と比べやや遅い、6月第4半旬に初誘殺され、平年並の誘殺頭数で推移していたが、8月第5半旬以降急増し、平年値の約10倍と、かなり多かった。
- ・南箕輪村では、5月第5半旬に初誘殺され、6月第3半旬に急増し、6月第4、第5半旬は過去3年間の平年値の約2～3倍の誘殺頭数であった。

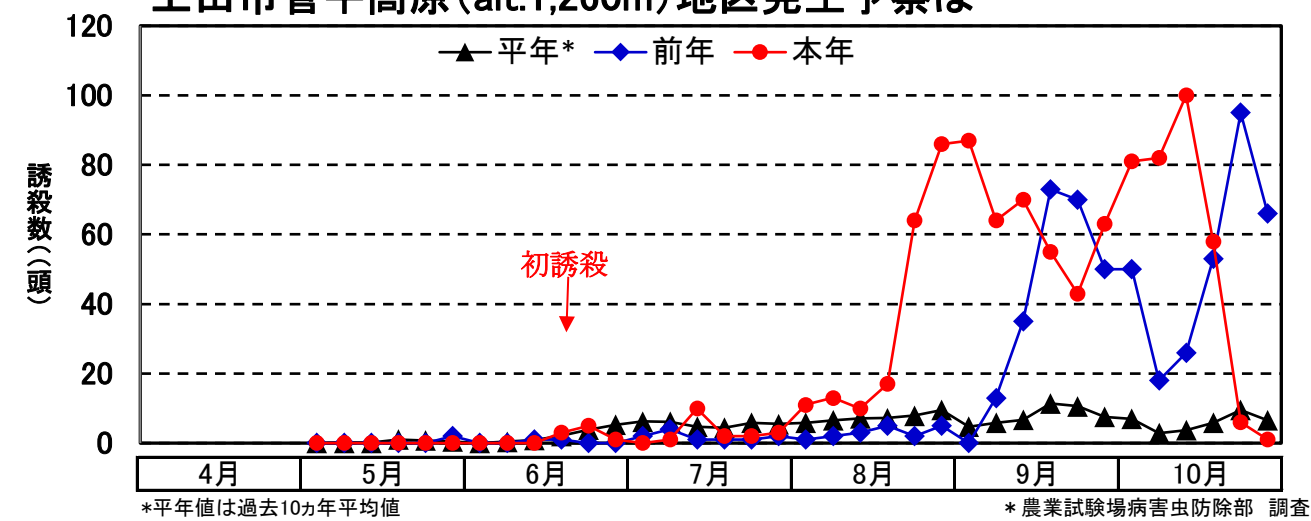
塩尻市宗賀 野菜花き試験場(alt.750m) 県発生予察ほ



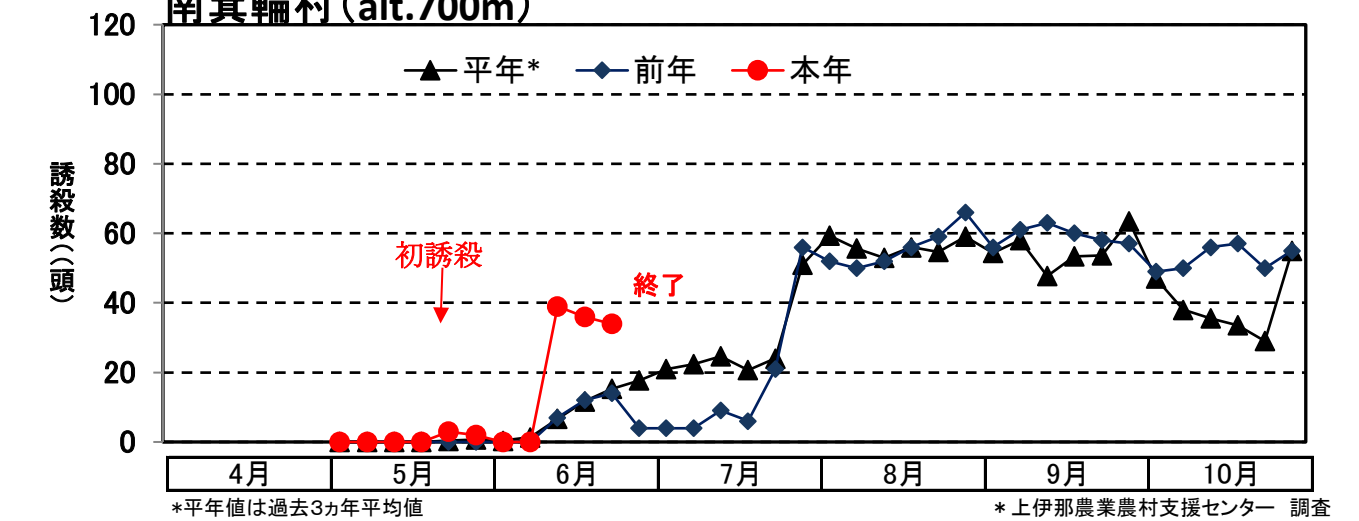
須坂市小河原 農業試験場(alt.360m)



上田市菅平高原(alt.1,260m) 地区発生予察ほ



南箕輪村(alt.700m)

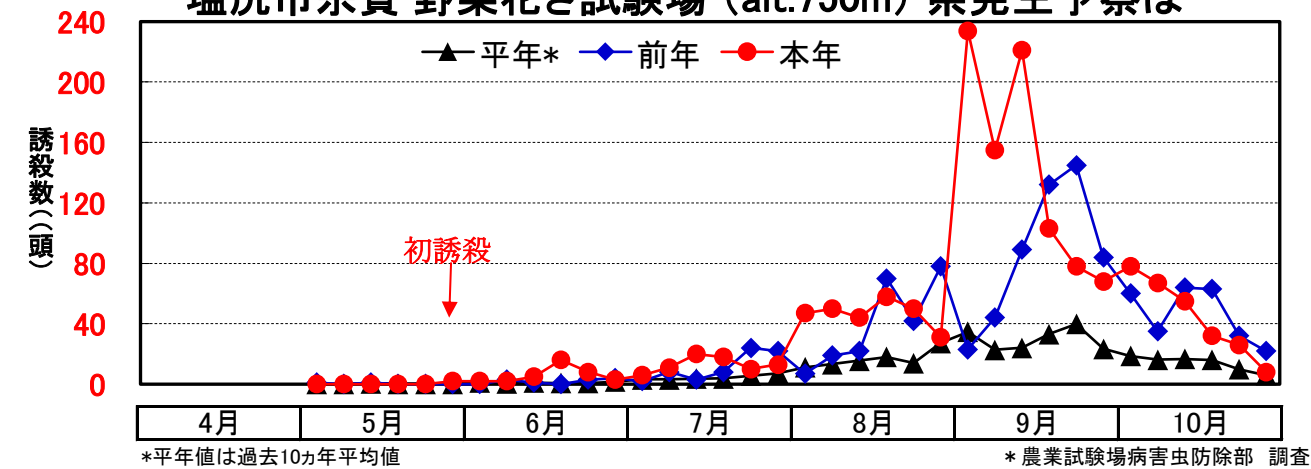


◎シロイチモジヨトウ

【コメント】

- ・塩尻市では、平年と比べやや遅い5月第6半旬に初誘殺され、8月以降、誘殺頭数は平年と比べかなり多く、9月上中旬にみられた山は平年値の約6倍であった。
- ・長野市では、平年と比べやや遅い6月第3半旬に初誘殺され、8月第4半旬以降、誘殺頭数が多くなり、9月にみられた山は平均値の14倍と、かなり多かった。

塩尻市宗賀 野菜花き試験場 (alt.750m) 県発生予察ほ



長野市上ヶ屋 (alt.1,070m) 地区発生予察ほ

